

せんとうき

館報 尖頭器



「尖頭器」とは主に旧石器時代に使われた狩猟具です

旧石器ハテナ館
 史跡田名向原遺跡
 旧石器時代学習館
 TEL042-777-6371
 平成24年8月16日
【第15号】

初めての埴輪作り教室開催

6月17日(日)に埴輪作り教室を行ないました。これまで団体向けの体験学習プランとしては用意していましたが、体験教室としては初めての開催です。埴輪と言えば一般的には馬や人物のイメージが強いかも知れませんが、当日はまず埴輪がどんな時代にどういう役割を果たしていたのか、どんな形のものがあるのか、実際にどんな風に配置されていたかなど、写真で紹介しながらお話し、その後で参加者の皆さんに作業に入ってもらいました。作り方は土器作りなどと同じく、粘土をよくこねて、ひも状に細く伸ばしたものを輪にして積んで



完成間近!

いきます。埴輪の基本は円筒埴輪ですが、チャレンジする埴輪のタイプとしては、やはり人物埴輪の人气が高く、他にも鶏形埴輪、家形埴輪などを作る人がいました。慣れない作業で表面をなかなか綺麗に整えられなかったり、何度も作り直したりして時間が少し足りなくなってしまう人もいましたが、終了時間までにはめいめいのオリジナル埴輪が出来上がり、可愛らしいものから個性溢れるものまで、ずらりと並んで賑やかな光景となりました。あとは家でゆっくりと乾燥させれば完成です。皆さん、大事そうに持って帰って帰って帰りました。

秋は黒曜石で石器作りを

9月と10月の定例体験教室は、黒曜石を使った石器作りを行います。9月は弓矢の先につける矢じり、10月は投げ槍の槍先になる尖頭器を作ります。どちらも鹿の角を使って形を整えていますが、矢じりは先の細い部分で強く押すようにしながら加工し、尖頭器は太い部分で叩くようにしていきます。人の道具の原点とも言える石器、一度自らの手で作ってみたいはいかがですか？



前回までの石器作りの様子



—今後の体験教室スケジュール— 毎月第3日曜日 14:00~16:00 開催

*毎月1日から電話申し込み受付

- 8月19日 勾玉作り
- 9月16日 矢じり作り
- 10月21日 尖頭器作り
- 11月18日 編布作り
- 12月16日 勾玉作り
- 1月20日 矢じり作り
- 2月17日 土器作り
- 3月17日 弓矢作り



今年の探訪は八瀬川の源流を辿る



雨の中を出発

6月9日(土)に、ハテナ館の近くを流れる八瀬川を上流に向かって歩き、源流の一つとされる大杉の池まで辿りながら、周辺の遺跡や石碑などを巡る探訪を行ないました。当日はあいにくの雨模様だったため、当初の予定より参加者も少なくなりましたが、雨にもめげず参加してくれた参加者の方達と和気あいあいとしたムードで無事にコースをまわることが出来ました。

まず最初にさがみはら・ホテルを守る協議会の小林さんより八瀬川の簡単な解説を頂き、ハテナ館をスタート。八瀬川の周辺には塩田遺跡、田名坊山遺跡、田名堀之内遺跡など、いくつもの遺跡があり、縄文時代、古墳時代、平安時代の集落や石器、土器などが見つかっています。調査

が終わった現在は、知らずに通ればごく普通の住宅街でしかありませんが、途中途中で遺跡が出た場所に立ち寄り、実際に住居跡があった箇所などを示しながら、遺跡の特徴や地理的な条件などをスタッフが解説し、進んでいきました。

八瀬川沿いを歩きながら、もうじきホテルが見られるようになるポイントでも立ち止まり、ホテルの生態や地元の人達のホテルを守る活動なども紹介しました。途中で八瀬川が二手に分かれる場所や、^{あんきよ}暗渠になっている箇所なども解説しつつ、遺跡以外にも、神社や制札場跡、慰霊碑が残る公園などを巡り、2時間ほどかけて最終的に源流の一つとされる大杉の池まで到着しました。最後に小林さんから池の生態についてのお話があり、川を辿り、文化財を巡る探訪は無事に終了しました。



遺跡そばの公園で解説



烏山領制札場跡



大杉の池に到着

夏休みはナイトミュージアムへ！

8月26日(日)夜7時から

去年までの様子

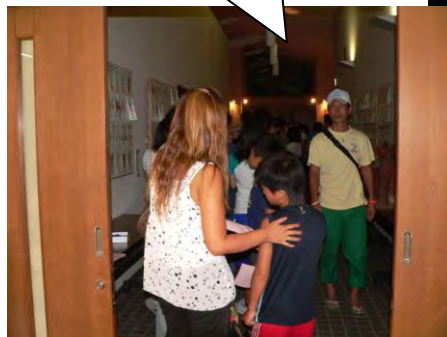
今年も夏休み恒例のナイトミュージアムを開催します。

普段は夏季でも夕方6時には閉めてしまいうハテナ館と遺跡公園を特別に開放し、夜の暗闇の中でクイズラリーと肝試しにチャレンジして貰います。申込みは不要ですが、懐中電灯を忘れずに持ってきて下さい。

皆さんの参加をお待ちしています。



いざ、真っ暗な展示室へ！



クイズはどこかな…